

## 12 理学部創立30周年記念奨学金について (2022年度「理学部創立30周年記念優秀論文賞」)

日常起きている様々な現象への探求心、理学を学んでいるうちに湧いてきた疑問や発見、そして自分の主張などを論文にまとめてみませんか。論文テーマは、同じ趣味を持つ友人との会話や、子供の頃から描いてきた理学への夢、日ごろ抱いている疑問などから出てくるでしょう。それらを理論立ったものとしてまとめあげて文章化する過程で、矛盾点や新たな問題点が見えて試行錯誤することもあるでしょう。しかし、この奨学論文では、内容の完成度だけでなく、テーマ選定での独創力、そしてそれをしっかりと読み手に伝える表現力・説得力にも評価の力点が置かれています。論文執筆の作業は、苦労はあっても実り多いものとなるはずです。多くの学生・院生の皆さんが応募することを期待します。

### 応募要項

感染状況により、変更が生じる可能性があります。詳細は募集要項を確認してください。

#### 1. 目的

理学部・大学院理学研究科では、同学部・研究科に在籍する者を対象に、所定に提出された論文の中から、着想力、独創力などにおいて特に優れた論文に対し「理学部創立30周年記念優秀論文賞」を授与する。また、受賞論文を作成した者に対しては、理学部創立30周年を記念して、1979年度に理学部卒業生、教員ならびに学内外の有志によって寄贈された基金をもとにした「理学部創立30周年記念奨学金」を支給する。

#### 2. 出願資格

- ①出願年度秋学期に在学している者。(休学している者及び休学予定の者は出願できない)
- ②提出論文は、複数名による共著論文も可とする。
- ③外国人留学生においては、日本政府(文部科学省)奨学金を受給している国費外国人留学生でない者。また、他の奨学金を出願・受給している者は、その奨学金の定める併給条件等を確認すること。本奨学金との併給が認められない場合があるので注意すること。(併給条件がわからない場合には国際センターに確認すること)

#### 3. 論文題材

物理学、化学、生命理学などの自然科学、数学に関するものを題材とする。ただし、正課として教員に指導を受けた研究に関する論文ではないこと。

#### 4. 論文書式

別途配布する募集要項を参照すること。特に次の点に注意すること。

- (1) Word もしくは Text で作成すること(出力版とデータ版の2種類提出)。
- (2) 論文中の、引用・参考にした文献は、論文中に適切に明示し、詳しい内容(著者名、出版年、雑誌名、巻、号、ページ等)を含んだ文献表を論文の最後に記すこと。引用・参考ルールを守らない場合(無断引用等がある場合など)は、審査対象としない。
- (3) 論文の最初には、論文題目および氏名、所属を明記すること。

#### 5. 出願期間

9月下旬 ※詳細は募集要項(6月発表)で確認のこと。

#### 6. 給与額

一件につき、10万円、20万円または30万円

7. 採用件数

3 件以内

8. 審査方法

理学部の教員および外部審査員各 4 名が、独創性、説得力、表現力、論理性（議論の根拠の明確さ）等を主に審査する。なお、審査は学年の違いを考慮して行なう。最終選考の際に、面談を行うことがある。

9. 願書および論文提出先

学生部学生課

10. 採用発表

11 月上旬予定（学生部）（応募論文は返却しない）

【参考】過去 10 年間の採用論文題名は次のとおりです。

（過去の採用論文は、4 号館学部事務 3 課で閲覧が可能です。）

2021 年度：「黄燐主成分ベルベリンを機軸とする新規天然染料誘導体の合成」

「ヒルベルトの基底定理の一般化について」

2020 年度：該当なし

2019 年度：「教材化を指向したクロロフィルによる染色実験」

2018 年度：「自己補グラフとなる条件の考察」

「融点を決定する物理量とその要因」（共著論文）

2017 年度：「屈折計の学生実験への応用」

2016 年度：該当なし

2015 年度：「葉の各成長段階における細胞および色素の変化」

「石油危機と生分解性プラスチックの導入」

2014 年度：「コンピューター社会における人間の役割」

「騙される感覚～なぜ誤認が生じるのか」

「上野動物園サル山の生活」

2013 年度：該当なし

2012 年度：「文字色が与える記憶力への影響」